

# 仏都平泉－日本における拠点形成の画期

佐藤 嘉広\*

◇「平泉」は、11世紀末～12世紀にかけて、奥州藤原氏によって日本列島本州島の北部に築かれた政治・行政上の拠点であり、仏教を統治理念として、約100年間繁栄した。世界遺産「平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群－」は、2011年に世界遺産一覧表に記載された。構成資産は、中尊寺・毛越寺・観自在王院跡・無量光院跡・金鶏山の5か所である。しかし、記載に至るまでの道のりは平坦でなく、2008年には「平泉－浄土思想を基調とする文化的景観－」について記載延期が決議されている。2011年の記載は、顕著な普遍的価値（以下、OUV）や構成資産を再構成し、推薦書を改定したものである。改定にあたり、2008年にイコモスから指摘された「浄土思想と関係が薄い」4資産（達谷窟、白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡、骨寺村荘園遺跡）については再度の推薦を見合わせ、中尊寺ほかが記載された後、「拡張」による追加登録を目指していくことが申し合わされた。また、2011年の記載決議の際、柳之御所遺跡については「OUVへの貢献が明らかでない」とされ、構成資産から除外された。現在、これらの5資産について、「拡張」推薦書を提出するための価値証明に向けた取組を進めている。そのひとつの手がかりが、「都市（拠点）造営」にあると考えている。



図1 「平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群－」とその関連遺跡等

\* 岩手県教育委員会、岩手大学平泉文化研究センター

◇「拡張」に向けた価値証明は、都市的要素を持つ「政治・行政上の拠点」としての平泉について行う必要がある。「拠点」はいくつかの要素によって構成されているが、それらは、「都市的中心域」、「境界域」、「周辺域」に分布する。

「都市的中心域」には、記載済みの5構成資産に加え、政庁（柳之御所遺跡）や工房などが含まれる。地理的範囲としては、概ね三方を河川に囲まれた範囲である。「境界域」は地理的要素のみならず文化的・社会的要素を考慮して設定可能である。都市の四至に関する可能性を持つ鎮守社や、毘沙門堂と庭園を持つ達谷窟などが該当する。「周辺域」は「境界域」の外側の諸施設で、川湊である白鳥館遺跡及び中尊寺経蔵の荘園である骨寺村荘園遺跡などが点在する。

### ●都市的中心域

- 1 政庁：「平泉館」（柳之御所遺跡）
- 2 居館：「加羅御所」（奥州藤原氏）
- 3 寺院：中尊寺、毛越寺（以上、現存寺院）、観自在王院、無量光院（以上、廃寺）
- 4 廟所：中尊寺金色堂
- 5 庭園：『浄土庭園』（中尊寺大池跡、毛越寺庭園、観自在王院庭園、無量光院園池）  
：その他の庭園（柳之御所遺跡園池）、（白山社園池）
- 6 都市的施設：「高屋」、「車宿」
- 7 工房：瓦窯、陶器窯、鑄造遺構
- 8 聖なる山：経塚が造営された平泉中心域設計の基点（金鷄山）

### ●境界域

- 9 居館：「衣河館」（奥州藤原氏外戚、接待館遺跡）
- 10 鎮守社：四方鎮守（白山社など）



図2 「平泉」の都市的中心域を構成する要素

11 庭園：達谷窟

●周辺域

12 川湊：北上川水運の拠点（白鳥館遺跡）

13 荘園：中尊寺経蔵領（骨寺村荘園遺跡）

※ 遺跡：長者ヶ原廃寺跡

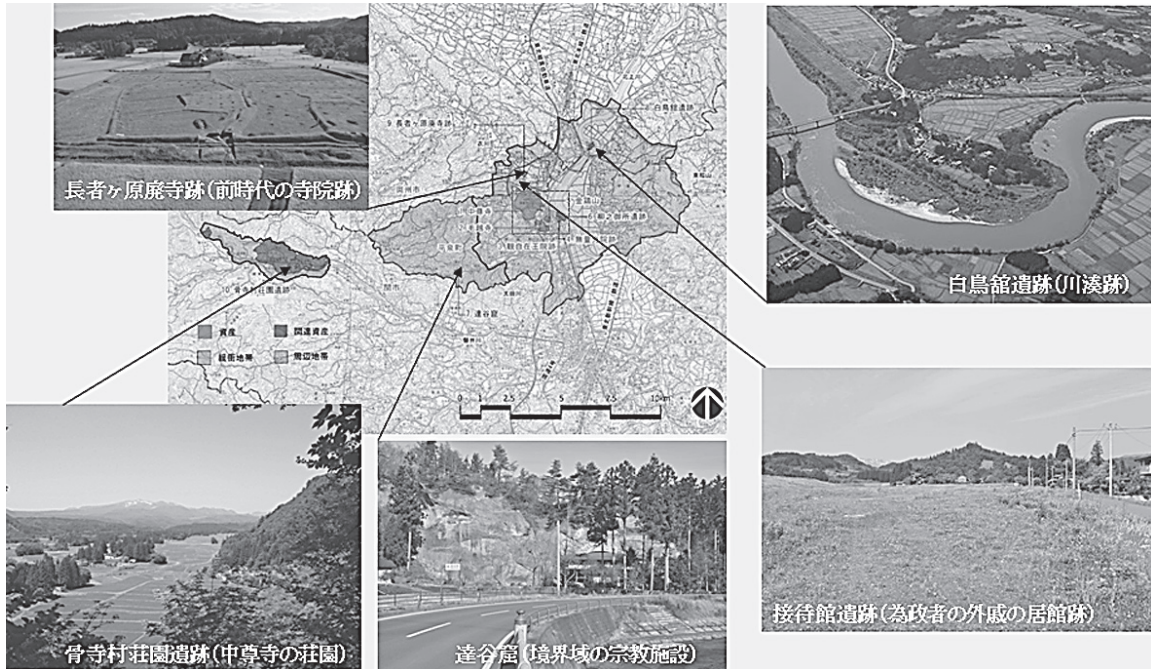


図3 「平泉」の境界域・周辺域を構成する要素

◇次に、「平泉」の形成史について。すでに、奥州藤原氏が「平泉」に拠点を移す以前から、12世紀に顕著な価値を有したと考えられるいくつかの場所において、活動の痕跡が認められる。白鳥館遺跡及び骨寺村荘園遺跡では、古代の土器等が出土している。達谷窟の創建に係る伝承は9世紀にさかのぼる。長者ヶ原廃寺跡は、10世紀後半から11世紀代に機能した寺院で、12世紀以前にはすでに廃絶



図4 「平泉」の拠点造営—清衡以前

している。中尊寺の境内である関山は、古代の交通路に関わる「関」であったとする意見がある。このように、古代以来、中心域から境界域、周辺域にかけて様々な遺跡が形成されているが、11世紀代の考古学的な証拠については、安倍氏伝承が豊富であることに比して極めて少ない。

◇次に初代清衡から3代秀衡に至る拠点造営の過程について。11世紀末、初代清衡は拠点を「平泉館」（柳之御所遺跡）に構え、支配領域の中心である関山に最初に塔を建立して中尊寺の造営に着手する。中尊寺には、南北の交通路に近接して釈迦堂、多宝寺、両界堂、二階大堂などがあったことが知られ、清衡の晩年には、経蔵、阿弥陀堂である金色堂、そして鎮護国家大伽藍一区と目される大池伽藍跡が相次いで造営された。金色堂は「平泉館」と相対し、道で結ばれた。また、その須弥壇下には清衡を始め歴代当主の遺体が安置された。なお、大池伽藍跡は東面する仏堂の前面に池を有していることから、「平泉」における浄土庭園の端緒と考えられている。

12世紀中葉の2代基衡の時期には、「平泉」における拠点造営・設計の基点である金鶏山頂に、経塚が造営され始めた。金鶏山頂から真南の延長上に毛越寺の東辺土塁が築かれ、観自在王院境内と区画された。毛越寺金堂は薬師如来を本尊とし、その前面には池が設けられ、背後の山とともに現在に至るまで典型的な浄土庭園の様相を伝えている。毛越寺南大門の前面には東西に大路がつくられた。大路の南側には、倉庫と考えられる総柱の掘立柱建物である「高屋」が設置された。また、東西大路と交差して小路が一定間隔で設置されるが、そのうちの一本が四方鎮守の一つと考えられる現白山社境内に延びている。一方、金鶏山の真東の延長には「平泉館」内の主要な建物が南北を長軸として建立され、その南面に池が設けられた。池には真西の金鶏山頂に向けて東西方向に橋が架けられた。

12世紀後半の3代秀衡の時期には、「平泉館」に近接して、秀衡の「常御所」である「加羅御所」が造営される。加羅御所跡を区画する堀跡は、そのまま無量光院の境内を区画した堀跡（又は土塁）に延び、「平泉館」と合わせて政治・行政拠点、日常拠点、寺院の3者が一体化していた様相が現出された。さらに、無量光院跡においては、東門跡と推定される地点から金鶏山頂を望んだ場合、池・中島・阿弥陀堂・背後の山（金鶏山）が直線的に並ぶ光景を見ることができ、現世における阿弥陀浄土の世界が表出されたものと理解されている。また、衣川流域においては、南北に延びる主要道路に面して居館跡と考えられる接待館遺跡が位置し、そこでは、3代秀衡期を中心に、平泉と同様の儀礼が行われた可能性を示す遺物が大量に出土している。



図5 「平泉」の拠点造営—清衡・基衡・秀衡

◇平泉が鎌倉幕府によって滅ぼされた時点の状況。関山と金鷄山を中心とする2か所の政治・行政的拠点施設と3か所の仏教寺院が中核となり、中心域が形成されている。それぞれの寺院境内には池が造営され、浄土庭園の空間が形成されている。一部の寺院及び生産施設はすでに遺跡化している。北東を「平泉館」、南西を毛越寺とした方形の範囲が、特に都市的な様相を示す遺構が集中して発見されている。

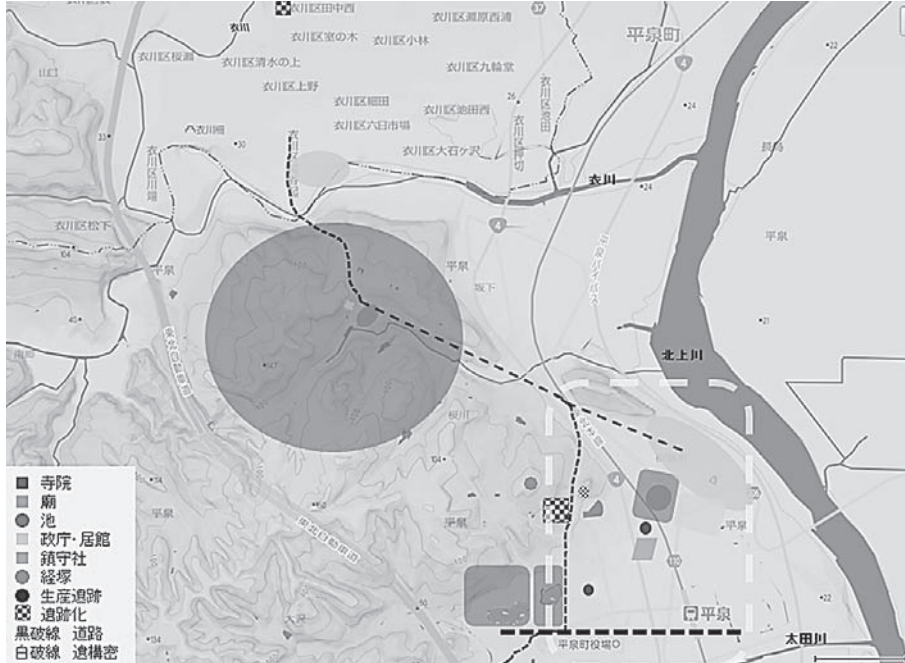


図6 「平泉」の拠点造営—1189年の状況—

1189年の滅亡後、政治・行政的施設は機能を停止するが、3つの寺院のうち無量光院を除く寺院は、そのまま存続した。(ただし、毛越寺のうち観自在王院については、ほどなく廃絶か。)

◇境界域及び周辺域を含めた状況である。達谷窟は、1189年以降も庭園を伴う寺院として存続した。白鳥館遺跡は、12世紀中葉以降川湊としての機能を継続し、15世紀ごろには城館が築造されて要塞化した。骨寺村荘園についても、中尊寺経蔵領としてそのまま持続し、中尊寺と直接的に結ばれる道



図7 「平泉」の拠点造営—1189年の状況：広域

が開削された。さらに、14世紀ごろ、村の境界を明示するために絵図が作成されている。

◇仏都「平泉」を構成する施設を年表化すると表1のとおりである。この表から、以下のことが確認できる。①「平泉」造営の中心的基点は、当初関山であったが、12世紀中葉には経塚が造営された金鶏山へと変わっていった。②仏堂は、当初は釈迦如来を本尊としたものが多いが、次第に薬師如来、阿弥陀如来を本尊とする仏堂が増加した。③浄土庭園に関しては、釈迦、薬師、阿弥陀をそれぞれ本尊として、順に形成されていった。④仏都を構成した政治・行政的施設は1189年をもって消滅したが、寺院ほかの宗教施設及び生産・流通関係施設については存続した。

表1 仏都を構成する施設と「浄土」

	11C前半～ 中葉 安倍氏	11C後半 清原氏	11C末～1128 清衡		1128～1157 盛衡		1157～1187 秀衡		1187～ 1189 盛衡	13世紀	14世紀
			前半	後半	前半	後半	前半	後半			
関山 との関係で説明	長教の厚鏡寺 [860]										
関山 との関係で説明		空持寺 [関山(聖蹟)] 清寺(阿彌陀)		中基寺(薬師) 東基寺							
		関山中基寺 [関山] 宿 空持寺 [関山]									
関山 との関係で説明		浄土堂 [関山]		二層大堂 [関山]							
				北極 [関山]							
関山 との関係で説明				金色堂 [関山]							
					浄土庭園 [関山]						
関山 との関係で説明					金鶏山						
						阿弥陀寺 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					
関山 との関係で説明						浄土庭園 [関山]					
						浄土庭園 [関山]					

◇白河は、平安京の東辺を南流する鴨川の東、二条大路の延長上に形成された。法勝寺を嚆矢とする六勝寺及び御所である白河殿が東西1.5キロ、南北1キロの範囲に方形の街区を形成しながら段階的に造営された。現在は、地下遺構の一部のみが現存する。鳥羽は、平安京朱雀大路の南の延長上、鴨川と桂川の合流点に造営された。豊富な水の供給を背景に、広大な園池を伴って隣接する御所及び御堂が東西1キロ、南北0.8キロの範囲に営まれた。基本的には方形に区画されているものの、白河に比して自由度が高く、諸施設の間が直線道路で結ばれている。

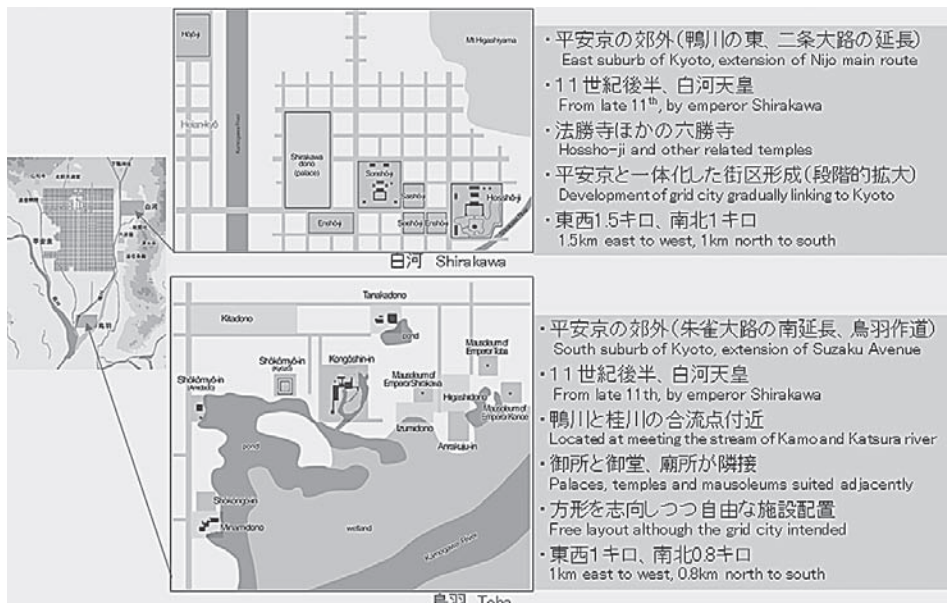


図9 12世紀の京都(平安京)郊外に派生した都市的空間

◇一方「平泉」は、古代国家の辺境領域に形成された。この地は当時の首都平安京から1000キロ以上離れた遠隔地で、都城造営とは直接関係しない。また、北東南の三方が河川で囲まれ、西側が丘陵地となっていて、造営された諸施設の配置はこの自然地形に大きく制約されている。政庁がほぼ東端に位置し、中尊寺・毛越寺・無量光院等の寺院が要所に配置される。ほぼ中心に位置する金鶏山の山

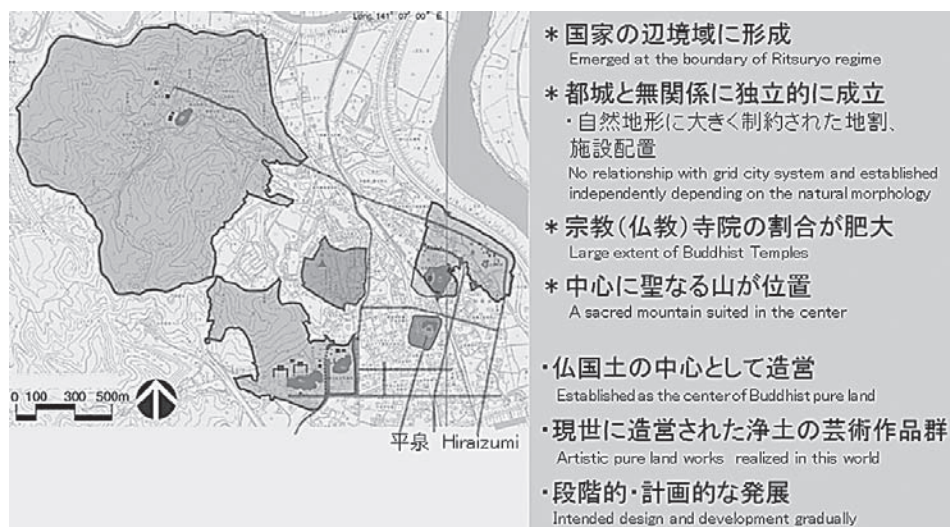


図10 政治・行政上の拠点としての「平泉」の成立

頂には経塚が営まれ、平泉造営の基点としての役割を果たすとともに、浄土の世界を表象する聖なる山ともなった。

仏都「平泉」は、奥州藤原氏がその統治領域を仏国土として作りあげようとした中心として造営された政治・行政上の拠点で、居館・寺院・鎮守社などのほか、阿弥陀堂を始めとする仏堂及び浄土庭園など、世界遺産として評価された浄土の芸術作品が集中している。これらが、奥州藤原氏支配の約100年間に形成され、現在にほぼそのまま残されている。

◇2014年11月には、アジア都市史において「平泉」がどのように位置づけられるかについて議論するための、研究集会を開催した。その討議結果のまとめは以下のとおりである。

1. 都市平泉は、都城との共通点を持ちながらも、自然地形にしたがった施設配置が意識されるなど、都城から大きく逸脱した構造とみることも可能である。その後の日本中世都市の萌芽と見なし得ることを含め、アジア都市史において、ひとつの典型的都市形態が変容して発生した新たな都市形態として独特の位置を占めている。
2. アジア都市史の観点においても、「平泉」を「中心区域」と「周辺区域」とに区分することが可能であり、アジアの事例に即して考えた場合、達谷窟、白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡、骨寺村荘園遺跡は、都市を構成し、あるいは支える施設としての意義を持つ可能性が考えられる。
3. 「平泉」造営の主軸となった浄土思想は、聖なる山を基点として、「中心区域」が寺院、浄土庭園、居館、鎮守社等の施設によって構成される独特の都市形態を発現させ、アジアにおける他の都市における仏教及びその他の宗教も含めて、それらの反映とは少し異なり、仏教ほか宗教理念の都市設計への反映の程度、深み、この点で独自性・固有性を持つこととなった。
4. 都市形成の画期は、アジア各地域においてさまざまな形態をとるが、「平泉」は、主軸となる宗教理念が都市設計に強力に反映して主要施設が配置され新たな都市形態が生み出された点、その文化的・経済的背景に国家領域を超えた広範囲の交流・交易が介在した可能性が高い点、で重要な画期となっており、アジア都市史において独自の意義を有するものである。さらに、都市史研究の観点からすると、平泉を研究することは、ひとつの典型的な都市形態（都城）が、ひとつの文化的領域の周辺域に伝播したのち、宗教理念との複合により変容した新たな都市空間を示すという点で重要な役割を持つと考えられる。この点においても、「平泉」の果たす役割は極めて大きい。

◇岩手県及び関係市町では、世界遺産の専門家の意見を踏まえつつ、「平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群－」について、「拡張」による構成資産の追加のための価値証明を試みている。それは、「平泉」が人類史上どのような意味を有した資産であるかという問いに対する答えを探すことでもある。現段階において、以下のような視点からアプローチすることにより、顕著な普遍的価値の証明が可能となるものと考えている。この意味において、杭州（臨安）を始めとするアジアの諸都城及び都市と「平泉」を比較しながら研究を進めていく必要がある。



- 「都城」の枠組みから脱却した政治・行政拠点
  - ・日本において最初に出現した非都城的政治拠点
  - ・都城からの脱却が宗教（仏教など）によって行われた稀有の拠点
- 仏教を中心とする宗教観が強く反映されて造営された政治・行政拠点
  - ・政治的、宗教的に意味のある山が拠点造営の基点
  - ・中心的施設が宗教的な意味によって配置
- 政治権力と宗教権力が融合・拮抗して造営された政治・行政拠点
  - ・政治権力によって形成された宗教的拠点が配置
  - ・政治権力を祀る宗教的拠点が設置
- 周辺域に関連施設が散在する政治・行政拠点
  - ・前時代からの政治・経済・宗教的施設が周辺域で展開・発展
  - ・中心域を支えた密接不可分な施設